

東かがわ市下水道事業経営戦略

令和7年度

事業部・都市整備課

目 次

1. 事業概要	
(1) 事業の概要	1
(2) 民間活力の活用等	2
(3) 経営比較分析表を活用した現状分析	2
2. 将来の事業環境	
(1) 処理区域内人口の予測	3
(2) 有収水量の予測	3
(3) 使用料収入の見通し	3
(4) 施設の見通し	3
(5) 組織の見通し	3
3. 経営の基本方針	4
4. 投資・財政計画(収支計画)	
(1) 投資・財政計画(収支計画)	4
(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明	4
(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の今後検討予定の取組の概要	5
5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	5
収支計画表	6・7・8

東かがわ市下水道事業経営戦略

団 体 名 : 東かがわ市

事 業 名 : 下水道事業
(公共下水道事業、特定環境保全公共下水道、農業集落排水事業)

[以下、
公共下水道事業:公共
特定環境保全公共下水道:特環
農業集落排水事業:農集 という]

策 定 日 : 令和 7 年 3 月

計 画 期 間 : 令和 7 年度 ~ 令和 16 年度

1. 事業概要

(1) 事業の現況

① 施 設

供 用 開 始 年 度 (供 用 開 始 後 年 数)	①公共:平成30年度(供用開始後7年) ②特環:平成14年度(供用開始後23年) ③農集:平成6年度~平成21年度 (供用開始後16~31年度)	法 適 (全部適用・一部適用) 非 適 の 区 分	全部適用 (平成30年4月1日)
処 理 区 域 内 人 口 密 度	令和5年度末 ①公共:29.7人/ha ②特環:17.8人/ha ③農集:8.3人/ha	流 域 下 水 道 等 へ の 接 続 の 有 無	無
処 理 区 数	①公共:1処理区(大内処理区) ②特環:2処理区(新川・小松原処理区、大内処理区(東部第5処理分区)) ③農集:10処理区(南野地区、黒羽地区、吉田地区、小海地区、西山地区、与田山地区、白鳥地区、水主下地区、三殿地区、中山地区)		
処 理 場 数	①公共:1処理場(三本松浄化センター) ②特環:1処理場(新川・小松原浄化センター) ③農集:10処理場(南野、黒羽、吉田、小海、西山、与田山、白鳥、水主下、三殿、中山農業集落排水処理施設)		
広域化・共同化・最適化 実施状況*1	広域化・共同化:未実施 最適化:平成30年4月に、農業集落排水(川東上地区)を特定環境保全公共下水道(大内処理区東部第5処理分区)として区域変更し処理施設の統廃合を図る。		

*1 「広域化」とは、一部事務組合による事業実施等の他の自治体との事業統合、流域下水道への接続を指す。
「共同化」とは、複数の自治体で共同して使用する施設の建設(定住自立圏構想や連携中枢都市圏に基づくものを含む)、広域化・共同化を推進するための計画に基づき実施する施設の整備(総務副大臣通知)、事務の一部を共同して管理・執行する場合(料金徴収等の事務の一部を一部事務組合によって実施する場合等)を指す。
「最適化」とは、①他の事業との統廃合、②公共下水・集排、浄化槽等の各種処理施設の中から、地理的・社会的条件に応じて最適なものを選択すること(処理区の統廃合を含む。)、③施設の統廃合(処理区の統廃合を伴わない。)を指す。

② 使 用 料

一般家庭用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	3事業同一で、基本料金と従量料金から構成され、(基本料金＋重量料金)×消費税相当額で算出しています。 (税抜額)							
	使用水量			金額				
	5立方メートルまで			725円				
	5立方メートルを超え10立方メートルまで			1立方メートルにつき145円加算				
	10立方メートルを超え20立方メートルまで			1立方メートルにつき164円加算				
	20立方メートルを超え30立方メートルまで			1立方メートルにつき185円加算				
	30立方メートルを超えるもの			1立方メートルにつき199円加算				
業務用使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	一般家庭使用料と同じ							
その他の使用料体系の 概 要 ・ 考 え 方	該当なし							
条 例 上 の 使 用 料 *2 (2 0 m ³ あ た り) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	令和3年度	2,640	円	実 質 的 な 使 用 料 *3 (2 0 m ³ あ た り) ※ 過 去 3 年 度 分 を 記 載	令和3年度	公共 特環 農集	3,189 3,077 3,179	円
	令和4年度	3,394	円		令和4年度	公共 特環 農集	3,557 3,565 3,594	円
	令和5年度	3,394	円		令和5年度	公共 特環 農集	3,631 3,627 3,671	円

*2 条例上の使用料とは、一般家庭における20m³あたりの使用料をいう。

*3 実質的な使用料とは、料金収入の合計を有収水量の合計で除した値に20m³を乗じたもの(家庭用のみでなく業務用を含む)をいう。

③ 組 織

職 員 数	下水道事業 3条職員(収益勘定支弁職員):2人 4条職員(資本勘定支弁職員):1人
事 業 運 営 組 織	管理者(市長) — 事業部・都市整備課

(2) 民間活力の活用等

民 間 活 用 の 状 況	ア 民間委託 (包括的民間委託を含む)	処理場運転管理を民間委託
	イ 指定管理者制度	該当なし
	ウ PPP・PFI	該当なし
資 産 活 用 の 状 況	ア エネルギー利用 (下水熱・下水汚泥・発電等) *4	該当なし
	イ 土地・施設等利用 (未利用土地・施設の活用等) *5	該当なし

*4 「エネルギー利用」とは、下水汚泥・下水熱等、下水道事業の実施に伴い生じる資源(資産を含む)を用いた収入増につながる取組を指す。

*5 「土地・施設等利用」とは、土地・建物等、下水道事業の実施に不可欠な資産を用いた、収入増につながる取組を指す(単純な売却は除く)。

(3) 経営比較分析表を活用した現状分析

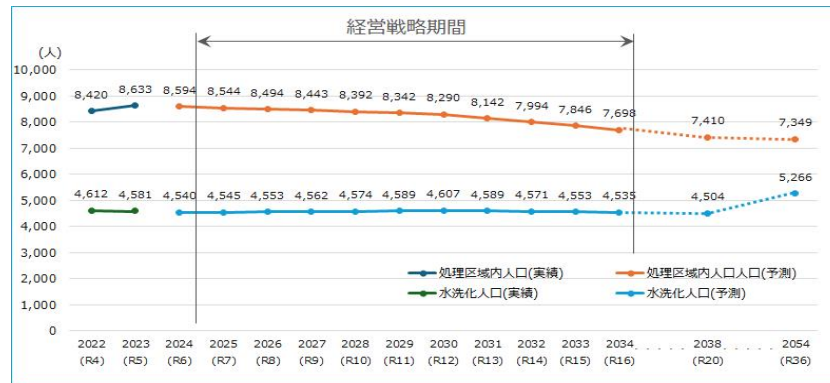
※直近の経営比較分析表(「公営企業に係る「経営比較分析表」の策定及び公表について」(公営企業三課室長通知))による経営比較分析表)を添付すること。

令和4年度決算「経営比較分析表」については、下水道事業全体として作成したものはないので各事業の「経営比較分析表」を参照する。

2. 将来の事業環境

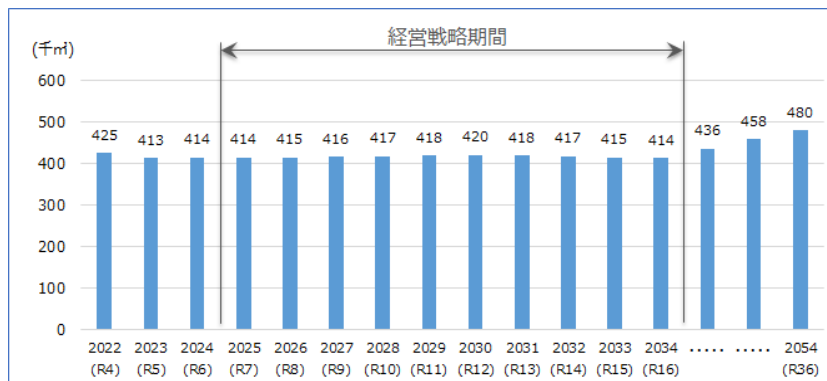
(1) 処理区域内人口の予測

将来の水量予測を行う基礎となる処理区域内人口および水洗化人口について、過去5カ年の実績を基にトレンド予測を行った結果、処理区域内人口は令和16年度の7,698人まで減少し、その後も令和36年度7,349人と減少します。水洗化人口についてはほぼ横ばい状況にあり、公共下水道の水洗化率向上に伴い令和36年度には5,266人と増加する傾向にあります。



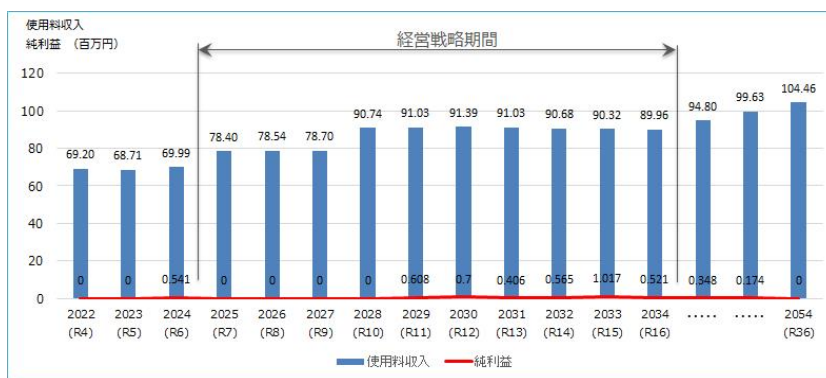
(2) 有収水量の予測

令和5年度の水洗化人口1人あたり有収水量の実績値に水洗化人口を乗じて算出しました。横ばい状況にある水洗化人口に伴って有収水量も横ばいの傾向にあります。



(3) 使用料収入の見通し

令和4、5年度の2カ年平均の水洗化人口1人あたり使用料単価×水洗化人口により算出しました。予定されている令和7年度の使用料改定に加え、令和10年度に15%の使用料改定を検討することにより使用料収入の増加を見込んでおり、純損益は経営戦略期間を通じて赤字は回避できる見込みです。



(4) 施設の見通し

- ①公共: 大内処理区域内の管渠布設工事(新設)を令和12年度まで行う計画としています。
- ②特環: 新川・小松原浄化センターの機械・電気設備の更新を計画しています。
- ③農集: 施設の再編・集約を計画しています。(黒羽・吉田・南野、三殿・中山、西山・与田山)

(5) 組織の見通し

現在下水道事業に係る職員は、4条職員(資本勘定支弁職員)1人、3条職員(収益勘定支弁職員)2人の計3人の職員で運営していますが、今後の拡張投資と併行して計画的な施設の改築が必要となることから、令和7年度からは4条職員2人、3条職員1人の人員体制により、引き続き3人の職員を見込んでいます。

3. 経営の基本方針

人口減少等の社会情勢の変化や節水意識・節水器具の普及等による環境の変化、また、耐用年数を迎える施設更新に伴う将来的な財源不足が懸念されるなど、下水道事業を取り巻く環境は厳しいものとなっています。

本市では「東かがわ市基本構想」と整合・調和を図り策定した「東かがわ市国土強靱化地域計画」のなかで、下水道事業について、「計画的に下水道管渠布設整備事業の実施と合わせて、下水道BCP(事業継続計画)の策定推進や応急復旧等の体制整備を図る。また、持続可能な下水道事業の実施を図るためストックマネジメント計画を適宜見直し適切な施設管理に努める」としています。

そこで、下水道事業として次の2点を経営の基本方針として取り組んでまいります。

1. 持続的な下水道サービスの提供
効果的な整備手法に努めるとともに、計画的な施設の維持管理により、下水道の機能を維持し、市民の快適で安心な暮らしを支えます。
2. 健全な下水道事業経営
未接続世帯に早期水洗化を促すとともに、平成30年度からの企業会計に移行に伴う財政状況や資産等の正確な把握により、経営の効率化及び健全化、並びに基盤強化に努め、持続可能な下水道事業を推進していきます。
また、令和7年度より下水道使用料の改定を予定しており、より経営基盤の強化を図ります。

4. 投資・財政計画(収支計画)

(1) 投資・財政計画(収支計画)：別紙のとおり

※ 赤字がある場合には(3)において、その解消方法が示されていることが必要

(2) 投資・財政計画(収支計画)の策定に当たっての説明

① 収支計画のうち投資についての説明

目 標	
	・公共・特環：処理場設備及び、管渠の老朽化に対する更新及び改築を進めます。優先度に応じた改築・修繕の実施を行うことで、将来の継続的な施設の適正化を目指していきます。 ・農集：処理施設の維持管理適正化計画に基づき統廃合計画による区域整備を進めてまいります。

- ①公共：管渠整備と処理場整備に10年間で総額約7.1億円を見込んでいます。
- ②特環：新川・小松原浄化センターの機電設備の更新として10年間で総額約4.5億円を見込んでいます。
- ③農集：処理場の統廃合に係る費用として10年間で約10.1億円を見込んでいます。
- ④全体：下水道事業全体として10年間で約21.7億円を見込んでいます。

② 収支計画のうち財源についての説明

目 標	
	●事業継続に必要な資金の確保 ・資金不足が生じることは、事業の継続性が絶たれた状態であるということを意味します。当然、そのような状況に陥ることのないよう、資金高がマイナスとならないことを目標とします。 ●経費回収率70%の達成 ・使用料で回収すべき経費をどの程度使用料で賄えているかを表す指標である経費回収率を一定水準以上に保つことは、下水道使用料水準の妥当性を検証する上でも重要となります。経費回収率は100%以上が適正ですが、経営比較分析表の類似団体の経費回収率平均が約70%であるため、計画期間内での70%達成を目標として設定します。

1. 使用料収入
・資金のマイナスを防ぎ、経費回収率を70%という財源の目標を達成するため、下水道使用料改定が予定されている令和7年度、さらに令和10年度に15%の使用料改定を見込んだ財源試算を行いました。
2. 国庫補助金等
・国庫補助事業の建設改良費の財源構成(低率)に基づき国費を計上し、税抜額は圧縮率を乗じた圧縮処理を行いました。
3. 起債
・起債については財源構成に基づき計上し、税抜き処理については対象外としました。
4. 受益者負担金
・財源構成に基づき仮算定し、財源の税抜処理後の調整額を計上しました。

※圧縮率(%) = 税抜投資額 ÷ 税込投資額 × 100%

③ 収支計画のうち投資以外の経費についての説明

1. 人件費：令和4、5年度(2022、2023年度)の決算平均値に物価変動を考慮し計上しています。
2. 維持管理費：令和4、5年度(2022、2023年度)の決算平均値に物価変動を考慮し計上しています。
3. 支払利息：既起債分の予定利息と、令和7年度(2025年度)以降の投資に対する償還金の新発債償還計算による利息を計上しています。
4. 元金償還金：既発債については既償還計画のとおりとし、新発債分は令和7年度(2025年度)以降の投資に対する償還金を計上しています。

(3) 投資・財政計画(収支計画)に未反映の取組や今後検討予定の取組の概要

(1)において、純損益(法適用)又は実質収支(法非適用)が計画期間の最終年度で黒字とならず、赤字が発生している場合には、赤字の解消に向けた取組の方向性、検討体制・スケジュールや必要に応じて経費回収率等の指標に係る目標値を記載すること。

* (1)において黒字の場合においても、投資・財政計画(収支計画)に反映することができなかった検討中の取組や今後検討予定の取組について、その内容等を記載すること。

① 今後の投資についての考え方・検討状況

* 処理区ごとに考え方が異なる場合は、処理区ごとに記載すること

広域化・共同化・最適化に関する事項	香川県が策定している香川県汚水処理事業広域化・共同化計画の実施検討を含め、様々な面から広域化・共同化への取組を検討する必要があります。
投資の平準化に関する事項	①公共:管渠布設整備を主たる投資計画として事業費の平準化を図ります。 ②特環:処理場の更新事業として、ストックマネジメント計画による平準化を図ります。 ③農集:統廃合計画において、適正な事業期間を設定し平準化を図ります。
民間活力の活用に関する事項 (PPP/PFIなど)	建設概成後はウォーターPPPについても導入可能性について検討していきます。なお、活用にあたっては、民間委託と直営の費用対効果や業務負荷削減効果等を比較検討します。
その他の取組	該当なし

② 今後の財源についての考え方・検討状況

使用料の見直しに関する事項	令和7年度に使用料改定を行う予定で、さらに令和10年度に15%の使用料改定を見込んでいます。
資産活用による収入増加の取組について	該当なし
その他の取組	設備更新事業については、国の補助事業の活用や起債の適用等、財源確保に努めます

③ 投資以外の経費についての考え方・検討状況

民間活力の活用に関する事項 (包括的民間委託等の民間委託、指定管理者制度、PPP/PFIなど)	先進事例等を研究し、導入の在り方について検討します。
職員給与費に関する事項	将来的には技術継承が重要となってくるため、適切な人員配置や適切な教育・研修に取り組めます。
動力費に関する事項	設備更新時において省電力型設備の導入等を検討します。
薬品費に関する事項	同一薬品で一括購入できる場合、広域連携による共同購入を検討します。
修繕費に関する事項	定期点検等による劣化状況に応じて、部品交換や分解整備を行うことで延命化を図ります。
委託費に関する事項	処理場等の維持管理業務の民間委託を継続するとともに、その適用拡大を検討します。
その他の取組	非常時における体制の充実について検討します。

5. 経営戦略の事後検証、改定等に関する事項

経営戦略の事後検証、改定等に関する事項	計画を着実に実行するため、本経営戦略は毎年度進捗管理(モニタリング)を行うとともに、5年に一度を目安として計画の見直し(ローリング)を行います。なお、経営環境の変化によっては5年以内に見直しを行います。
---------------------	---

収 支 計 画 表

表-1 投資財政計画(収益の収支)

区 分		年 度													(単位：千円、%)	
		2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	2030年度 (R12年度)	2031年度 (R13年度)	2032年度 (R14年度)	2033年度 (R15年度)	2034年度 (R16年度)		
経 営 活 動 に 関 連 し た 金 銭 的 な 取 引	1. 営業 収 入 (A)	81,487	80,046	81,189	85,795	85,876	86,086	98,581	98,949	99,208	98,813	98,384	97,997	97,633		
	(1) 使 用 料 収 入	69,197	68,710	69,987	78,401	78,539	78,695	90,737	91,034	91,391	91,034	90,677	90,320	89,963		
	(2) 受 託 工 事 収 益 (B)															
	(3) 雨 水 処 理 負 担 金 (C)	12,281	11,334	11,202	7,388	7,331	7,386	7,839	7,910	7,811	7,774	7,702	7,671	7,664		
	(4) そ の 他 (D)	9	2		6	6	6	6	6	6	6	6	6	6		
	2. 営業 外 収 入 (E)	427,722	410,861	432,264	389,099	385,402	388,774	405,159	409,918	403,503	401,276	397,318	396,274	395,736		
	(1) 他 会 社 補 助 金 (F)	271,827	261,648	283,122	240,494	238,156	236,527	225,458	225,140	221,647	220,470	218,260	217,495	216,748		
	(2) 長 期 前 受 金 戻 入 (G)	155,667	149,049	148,984	148,409	147,050	152,051	179,505	184,582	181,660	180,610	178,862	178,583	178,792		
	(3) 補 助 金 (H)															
	(4) そ の 他 (I)	228	164	158	196	196	196	196	196	196	196	196	196	196	196	
	3. 営業 外 収 入 (J)	509,209	490,907	513,453	474,894	471,278	474,861	503,741	508,867	502,711	500,089	495,703	494,271	493,368		
	(1) 職 員 給 与 (K)	460,623	445,175	471,996	435,395	435,237	441,803	472,952	479,898	475,798	475,040	472,690	472,579	472,539		
	(2) 経 費 (L)	12,404	10,091	13,549	5,760	5,858	5,922	5,987	6,047	6,108	6,169	6,230	6,293	6,356		
	(3) 経 費 (M)	115,163	117,616	150,594	118,626	120,337	121,478	122,649	123,851	125,085	126,091	127,104	128,126	129,156		
	(4) 経 費 (N)	53,673	59,783	78,187	57,976	58,788	59,317	59,851	60,389	60,933	61,481	62,035	62,593	63,156		
	支 出 (O)	28,693	27,824	28,945	28,556	29,006	29,325	29,667	30,032	30,421	30,575	30,729	30,884	31,039		
2. 営業 外 収 入 (P)	32,797	30,009	43,462	32,094	32,543	32,836	33,132	33,430	33,731	34,034	34,341	34,650	34,961			
(1) 減 価 償 却 費 (Q)	333,056	317,468	307,853	311,010	309,042	314,403	344,315	349,999	344,605	342,781	339,355	338,160	337,027			
(2) 営業 外 収 入 (R)	48,626	45,489	40,916	39,499	36,040	33,057	30,789	28,362	26,213	24,642	22,448	20,675	18,981	15,572		
(1) 支 払 金 (S)	44,217	41,390	40,552	35,151	31,632	28,609	26,301	23,833	21,644	20,032	17,796	15,981	15,572	15,572		
(2) そ の 他 (T)	4,409	4,099	364	4,348	4,408	4,448	4,488	4,529	4,569	4,610	4,652	4,694	4,736			
支 出 (U)	509,249	490,664	512,912	474,894	471,277	474,860	503,741	508,259	502,011	499,683	495,138	493,294	492,847			
経 常 損 益 (V)	△ 40	243	541	0	0	0	0	608	700	406	565	565	1,017	521		
特 別 損 益 (W)	104	6														
特 別 損 益 (X)	64	249														
当 年 度 純 利 益 (Y)	40	△ 243														
繰 越 利 益 剰 余 金 (Z)																
流 入 (AA)	156,345	261,947	293,171	160,974	55,431	55,541	541	541	1,149	1,849	2,255	2,820	3,837	4,358		
流 入 (AB)	77,539	48,494	49,395	55,334	55,431	55,541	64,040	64,250	64,502	64,250	77,009	102,870	124,153	124,153		
流 入 (AC)	387,522	495,874	496,402	475,628	458,378	438,844	409,939	358,416	351,032	333,691	319,598	322,216	315,213	315,213		
流 入 (AD)	320,792	324,371	324,899	304,125	286,875	267,341	238,436	186,913	179,529	162,188	148,095	150,713	143,710	143,710		
流 入 (AE)																
流 入 (AF)	64,007	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675	168,675		
流 入 (AG)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AH)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AI)	81,487	80,046	81,189	85,795	85,876	86,086	98,581	98,949	99,208	98,813	98,384	97,997	97,633	97,633		
流 入 (AJ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AK)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AL)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AN)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AO)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AP)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AQ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AR)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AS)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AT)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AU)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AV)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AW)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AX)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AY)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (AZ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BA)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BC)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BD)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BE)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BF)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BG)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BH)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BI)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BJ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BK)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BL)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BN)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BO)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BP)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BQ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BR)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BS)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BT)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BU)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BV)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BW)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BX)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BY)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (BZ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CA)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CB)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CC)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CD)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CE)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CF)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CG)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CH)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CI)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CJ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CK)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CL)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CM)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CN)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CO)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CP)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CQ)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CR)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CS)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CT)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CU)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CV)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CW)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-		
流 入 (CX)	-	-	-	-	-	-	-	-	-							

表-2 投資財政計画(資本の収支)

区 分		年 度														(単位：千円)
		2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	2030年度 (R12年度)	2031年度 (R13年度)	2032年度 (R14年度)	2033年度 (R15年度)	2034年度 (R16年度)		
資本的収入	1. 企業	186,600	218,500	231,200	57,857	69,908	102,951	65,799	60,291	75,627	11,178	16,362	22,437	18,873		
	うち資本費平準化債															
	2. 他会計	21,050	18,313	41,300	6,980	93,340	48,911	84,609	48,911	2,355	1,602					
	3. 他会計補助金	27,697	25,731	26,374	36,922	65,486	286,178	62,134	24,085	20,415	18,516	17,656	19,799	17,335		
	4. 他会計負担金															
資本的支出	5. 他会計借入金															
	6. 国（都道府県）補助金	71,587	78,912	81,000	82,720	152,798	593,888	147,495	75,170	93,627	19,219	26,300	39,477	30,389		
	7. 固定資産売却代金															
	8. 工事負担金	10,589	16,657	6,084	4,750	5,000	5,200	4,800	4,800	6,000						
	9. その他															
資本的収入	(A)のうち翌年度へ繰り越さる支出の財源充額	317,523	358,113	385,958	182,249	300,172	1,081,557	365,287	213,257	198,024	50,516	60,318	81,713	66,597		
	(B)	7,353	5,086													
	(C)	310,170	353,027	385,958	182,249	300,172	1,081,557	365,287	213,257	198,024	50,516	60,318	81,713	66,597		
	1. 建設改良費	164,203	215,961	197,600	154,923	267,612	964,089	258,193	144,292	179,949	33,814	46,677	69,257	53,921		
	2. 企業債償還金	314,457	320,792	324,192	324,899	304,125	286,875	267,341	238,436	186,913	179,529	162,188	148,095	150,713		
資本的支出	3. 他会計長期借入金返還金															
	4. 他会計への支出金															
	5. その他															
	(D)	478,660	536,753	521,792	479,822	571,737	1,250,964	525,534	382,728	366,862	213,343	208,865	217,352	204,634		
	(E)	168,490	183,726	135,834	297,573	271,565	169,407	160,247	169,472	168,838	162,828	148,547	135,640	138,037		
資本的収入	1. 損益助定留保資金	152,962	172,732	112,784	283,489	247,236	81,763	136,775	156,354	152,479	159,754	144,303	129,343	133,135		
	2. 利益剰余金処分額															
	3. 繰越工事資金	3,932	4,623	5,086												
	4. その他	11,596	6,371	17,964	14,084	24,329	87,644	23,472	13,117	16,359	3,073	4,244	6,296	4,902		
	(F)	168,490	183,726	135,834	297,573	271,565	169,407	160,247	169,472	168,838	162,828	148,547	135,640	138,037		
資本的支出	(E)-(F)				0			0								
	(G)															
	(H)	3,442,896	3,340,604	3,247,612	2,980,570	2,746,353	2,562,429	2,360,887	2,182,742	2,071,456	1,903,105	1,757,279	1,631,621	1,499,781		
	(I)															
	(J)															
○他会計繰入金																
区 分		年 度														(単位：千円)
		2022年度 (R4年度)	2023年度 (R5年度)	2024年度 (R6年度)	2025年度 (R7年度)	2026年度 (R8年度)	2027年度 (R9年度)	2028年度 (R10年度)	2029年度 (R11年度)	2030年度 (R12年度)	2031年度 (R13年度)	2032年度 (R14年度)	2033年度 (R15年度)	2034年度 (R16年度)		
収益的収支	うち基準内繰入金	284,108	272,982	294,324	247,882	245,487	243,914	233,298	233,049	229,458	228,243	225,962	225,166	224,412		
	うち基準外繰入金	221,198	211,958	204,986	207,088	205,778	209,347	229,265	233,049	229,458	228,243	225,962	225,166	224,412		
	うち基準外繰入金	62,910	61,024	89,338	40,794	39,709	34,566	4,033								
資本的収支	うち基準内繰入金	48,747	44,044	67,674	27,326	32,559	117,468	107,094	68,965	18,075	16,702	13,641	12,456	12,676		
	うち基準内繰入金	27,697	25,731	27,266	27,326	25,579	24,128	22,485	20,054	15,720	15,099	13,641	12,456	12,676		
	うち基準外繰入金	21,050	18,313	40,408	6,980	93,340	93,340	84,609	48,911	2,355	1,602	2,355	1,602	1,602		
合 計		332,855	317,026	361,998	275,208	278,046	361,381	340,391	302,014	247,533	244,945	239,603	237,622	237,088		